

令和 2 年度 一関保健所事業の実施状況

保健課

○ 心と体の健康づくり

1 栄養改善事業

(1) 特定給食施設等に対する立入指導等

- ア 特定給食施設等従事者研修会 1 回、20 人
- イ 個別立入指導 28 施設／88 施設
- ウ 特定給食施設食塩摂取状況調査 26 施設

(2) 免許交付

- ア 栄養士：新規11件、書換・再交付 10件
- イ 管理栄養士：新規 5 件、書換・再交付 1 件

2 健康づくり対策

○ 課題

岩手県脳卒中死亡率（H27）男性：全国ワースト3位、女性：ワースト1位

両磐地域：男女ともに岩手県全体より低い死亡率で低下傾向にあったが、男性は平成27年以降、岩手県全体より高い死亡率で推移している。

○ 取組の経過

平成 25 年度から県南広域振興局（3 保健所）が関係機関・団体と協力し地域一丸となって「脱脳卒中宣言事業」に取組み、平成 30 年度からは「ストップ！生活習慣病事業」に拡大し事業を継続実施している。

(1) 脱脳卒中宣言事業

- ア 若年期を対象とした出前講座 1 回、67 人
- イ 街頭キャンペーン 4 回、1,200 人
- ウ 減塩リーダー養成講習会 2 回、40 人

(2) 糖尿病性腎症重症化予防事業

市町における管理栄養士等の保健指導体制の強化支援

- 対象 管理栄養士未配置の医療機関における糖尿病ハイリスク者（国保）
- 目的 糖尿病腎症重症化を予防し指導後の評価も含めた派遣体制を整備する

- ア 事例検討会 1 回、8 人
- イ ハイリスク者への栄養指導 対象者 5 人、延べ 40 件

(3) 受動喫煙対策事業

- ア 改正健康増進法説明会 10 回、271 人
- イ 管理者説明会 7 回
- ウ 相談・指導 39 件
- エ 訪問指導 9 件
- オ 事業所出前講座 1 回、45 人

3 母子保健対策

(1) 小児慢性特定疾病事業

小児慢性特定疾患にかかっている児童の医療費負担を軽減するため、公費負担による医療費受給者証の交付事務を行った。16 疾患群、対象疾病 756 疾病)

ア 申請：35 件（受給者証所有者 150 名）

イ 長期療養児等家族の情報交換会 中止

(2) 不妊に悩む方への特定不妊治療支援推進事業

不妊治療の経済的な負担を軽減するため、医療保険が適用されない特定不妊治療（体外受精、顕微授精）を受けたご夫婦に対し、治療費の一部（1 回につき上限 15 万円、初回治療に限り 30 万円。令和 3 年 1 月からは 1 回につき上限 30 万円）を助成した。

特定不妊治療費助成件数：61 件

4 難病支援対策

平成 27 年 1 月から難病の患者に対する医療等に関する法律が施行され、特定疾患患者（5 疾患）及び難病医療費助成制度対象疾患の患者に医療給付や患者等の支援を行った。

(1) 医療給付申請受理

ア 新規 114 件

イ 転入 6 件、変更 205 件)

更新 0 件、申請新型コロナウイルス感染拡大防止のため延長（令和 2 年度末対象者 1,189 人）

(2) 難病患者地域支援ネットワーク事業

ア 在宅難病患者の家庭訪問 7 件

イ 電話相談 4 件

ウ 医療相談会・家族交流会等 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

エ 難病対策地域協議会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

構成機関	難病患者・家族等（随時選出）、独立行政法人国立病院機構岩手病院、一関市国民健康保険藤沢病院、岩手県立磐井病院、岩手県立千厩病院、両磐ブロック高齢者福祉協議会、両磐地区在宅介護支援センター協議会、訪問看護ステーション協議会 県南 A ブロック、岩手県難病団体連絡協議会、一関市保健福祉部福祉課、一関市保健福祉部健康づくり課、平泉町保健センター、岩手県一関保健所
------	---

5 精神保健福祉対策

関係機関又は住民からの相談を受けて、精神科医療機関への受療等に係る相談支援や、精神障がい者の通院医療の促進と適正な医療の普及を図るため、医療給付等交付を行う。

(1) 精神障害者警察官通報等にかかる入院措置等

警察官等通報件数：9 件（うち措置入院：1 件）

(2) 電話・面接相談等

電話・面接相談件数							(延件数)
年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	R2
電話・面接	242	421	865	917	610	418	298
家庭訪問	84	119	190	233	146	97	46
計	326	540	1,055	1,150	756	515	344

- ア 精神障がい者家族、当事者及び精神保健福祉ボランティアの活動支援
- イ 自立支援医療受給者証（精神通院）の交付、2,042人
- ウ 精神障害者保健福祉手帳の交付、1,138人（1級:324人、2級:672人、3級:142人）

(3) 県南地域精神科救急医療体制連絡調整委員会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

構成機関	奥州医師会、一関医師会、おとめがわ病院、県立南光病院、希望ヶ岡病院、県立大船渡病院、県立磐井病院、奥州警察署、一関警察署、千厩警察署、大船渡警察署、奥州金ヶ崎町行政事務組合消防本部、一関消防本部、奥州保健所、大船渡保健所、一関保健所
------	--

6 自死予防対策

新たな「一関地域自殺対策アクションプラン」（計画期間：平成31年度～35年度）の策定を行い、うつや心の健康に関する普及啓発、自死を予防するための早期対応の中心的役割を果たす人材の養成、自死につながる可能性のあるハイリスク者への相談対応等により自殺者の減少を図る。

(1) 推進組織

ア 自死対策推進連絡会議

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

構成機関	一関市医師会、一関歯科医師会、一関薬剤師会、県立南光病院、岩手看護協会、一関市、平泉町、一関消防本部、一関警察署、いわて平泉農業協同組合、一関公共職業安定所、一関労働基準監督署、一関労働基準協会、岩手日日新聞社、一関市社会福祉協議会、一関市老人クラブ連合会、一関市民生児童委員連絡協議会、一関市行政区長会連絡協議会、平泉町保健推進員、地域活動支援センター一関、県南教育事務所、岩手県精神保健福祉センター、岩手県精神保健福祉協会、岩手県介護老人保健施設協会、りんどうの会
------	--

- イ 自死とうつに関するケアネットワーク会議（1回、23人）
- ウ こころの健康づくり事業担当者連絡会（1回、13人）

(2) 普及啓発事業

- ア 予防月間（9/1～30）垂幕掲示

イ 自殺対策強化月間における「一関地域「こころの安全週間」

R3年月10日～3月16日：工房てんとう虫他オリジナルポスター作成・掲示

ウ 事業所出前講座 2回、計 95人、事業所訪問 2ヶ所

(3) 人材育成

ア こころのケアナース養成セミナー 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

イ こころのケアナーススキルアップ研修 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

こころのケアナース養成者数年次数推移

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	計
人数	37	42	38	51	64	58	54	43	387

※ こころのケアナースは、医療機関、福祉施設、教育機関等の職員で、本人の話を聴いて傾聴し、必要に応じて医療機関や相談窓口担当者に繋げる役割をする方です。

ウ 自死とうつに関するケアネットワーク会議における研修（1回、23人）

オ 精神保健福祉及び傾聴ボランティア活動支援研修会（3月19日、35人）

(4) ハイリスク者及び自死遺族への支援

ア うつ、自殺未遂、自死遺族等への相談対応 R2：46件（面接電話298件、訪問46件）

イ 自死遺族交流会 こころサロン一関（3回、実2/延2人）、

7 ひきこもり対策

ひきこもり者の社会参加を促進するため、当事者や家族等への相談支援等を行う。

(1) ひきこもり当事者・家族の居場所「フリースペースひだまり」の開催

（年間16回実施、参加延：当事者8人、家族67人）

(2) 専門相談員によるひきこもり個別相談

（年間6回実施、実5/延16人）

(3) ひきこもり者の家族を支援する家族教室

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) ひきこもり支援者研修会・事例検討会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

8 依存症対策

地域のアルコール依存自助グループ等への支援

アルコール家族教室：年間7回、参加者延26名

9 結核予防対策

結核患者の適正な医療の確保をするとともに感染の蔓延防止のため、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、積極的疫学調査の実施、就業制限、入院勧告、感染症診査会の開催、患者家族や接触者等を対象とした接触者健康診断を実施し、患者の適正な医療を確保、結核の二次感染予防など早期発見に努めている。

(1) 登録患者数の推移

(人)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
結核新登録患者	13	14	16	6	12	12	10
潜在性結核患者	1	8	14	2	5	3	6

(2) 感染症診査協議会の開催：33回、入院医療9件、通院医療24件

(3) 結核接触者健康診断：保健所実施350件、病院委託36件

(4) 直接服薬確認支援 (DOTS)

直接服薬確認支援件数 (年度/件数)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
対象ケース	23	30	29	19	11	22	5
延支援件数	64	109	94	78	70	67	18

(5) 結核管理健診：病院委託31人

(6) 結核に関する健康教室(出前講座)の開催：なし

10 感染症予防対策 (結核以外)

(1) 感染症発生に伴う疫学調査及び保健指導

感染症の蔓延防止、原因究明のための調査

○腸管出血性大腸菌感染症 14 件、感染性胃腸炎 (集団感染) 1 件、RS ウイルス感染症 2 件
E 型肝炎 1 件

(2) 感染症に関する健康教育

感染症の発生予防及び感染拡大を防止するため施設等の職員を対象に出前講座を開催した。
事業所の出前講座：5 回、参加者 324 人

11 エイズ・性感染症予防対策

エイズ・性感染症の蔓延を未然に防止するため、エイズ相談窓口の設置、HIV抗体検査 (迅速検査を含む) や世界エイズデーにおける啓発活動、肝炎治療促進事業等に取り組んだ。

(1) 抗体検査（血液検査）の実施状況

	HIV	性器クラミジア	肝炎	梅毒
実施回数	4 (4)	4	5	4
件数	6 (6)	5	8	5

※（ ）内は、迅速検査の実施数

(2) 世界エイズデーの普及啓発

- ア 世界エイズデー（12月1日）前後1週間のレッドリボンツリー等の設置
設置場所 JR一関駅構内、一関合同庁舎内
- イ 保健所職員によるレッドリボンの着用

(3) 肝炎治療促進事業

B型・C型肝炎治療に係る医療費助成 申請受理件数72件

12 新型インフルエンザ等感染症対策

新型コロナウイルス感染症が国内でも感染者が確認されたことから、情報の共有と今後の感染対策を図るため、会議を開催するとともに、一関市臨時診療所（地域外来・検査センター）を設置し、また、診療・検査医療機関の検査体制の整備を行った。

さらに新型インフルエンザ、高病原性鳥インフルエンザ等の発生に備えるため、感染症発生動向の把握、防護服、消毒薬等の必要物品の整備、迅速で適正な行動がとれるよう患者搬送訓練等に取り組んだ。

(1) 会議

- ア 両磐圏域感染症対策連絡会議：第1回 令和2年4月22日 出席者39名
第2回 令和2年7月15日 出席者45名
第3回 令和2年8月6日 出席者26名
第4回 令和2年11月12日 出席者35名
- イ 両磐地域医療関係者ブリーフィング：第1回 令和2年4月13日 出席者23名
第2回 令和2年5月7日 出席者25名
第3回 令和2年10月13日 出席者21名

(2) 医療・相談等体制整備

- ア 診療・検査医療機関指定に係る圏域説明会の開催：令和2年10月14日 出席者37名
- イ 診療・検査医療機関指定に係る検査現地確認

(3) 訓練等

- ア 新型コロナウイルス感染症患者搬送訓練・研修：4回 33名
- イ 一関市臨時診療所（地域外来・検査センター）に係るPPE着脱研修：1回 95名
- ウ 検体送付のための包装責任者研修：2回 24名

- エ 介護施設・障がい福祉サービス事業所等向け感染症対策研修：2回 197名
- オ 消防機関を対象とした新型コロナウイルス感染症のための搬送に係る研修：2回 78名
- カ ケアマネ協議会PPE着脱研修：2回 89名
- キ PPE着脱講習：6回 44名